

第 210 回
定例探鳥会

日時：2004 年 6 月 13 日 (日) 天候：雨
コース：高来神社 花水川 高来神社

今朝は雨模様で中止にしようかと話しているとやる気十分の参加者が次々とやってきました。定刻時間になった頃には雨がやみ上空をアオバトが飛んだり、近くでヤブサメが鳴いたりもしましたが、かなり雨が降っていたので山は足元が悪いだらうと、今日は久しぶりに花水川に行ってみることにしました。

川では久しぶりにササゴイ2羽も観察されてアオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギとサギ類が5種類も観察されました。しばらく歩くと雨が降ってきましたが、その中でもカワセミが何度か出たりして、はじめてカワセミを見た参加者もいてたまには川もいいかな？

工事中の堀状になった場所ではツバメ、イワツバメがたくさん舞い、姿を上から見られ違いの見分け方にいい場所もありました。

川岸のサクラの木ではムクドリ、カワラヒワ、スズメ、の幼鳥が観察され、雨の中鳥達の子育ても大変です。

夏は山の中では鳥達が息を潜めているので鳥に出あう機会が少なく寂しいので今度夏は川もいいなと感じました。

参加者

参加人数 17 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 鈴木 逸子 | 2. 八木 正 | 3. 吉田 宣子 | 4. 福持 日出夫 | 5. 別所 三郎 |
| 6. 下倉 紘一 | 7. 山田 文則 | 8. 松下 弓子 | 9. 南 那津子 | 10. 木田 ハマ |
| 11. 黒田 永之 | 12. 下村 正明 | 13. (田端 裕) | 14. (岩佐 昌夫) | 15. (内山 規矩雄) |
| 16. (金子 典芳) | 17. (斎藤 常實) | | | |

見聞きした鳥

種類数 26 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|-------------|-----------|----------|------------|-------------|
| 1. カワウ | 2. アオサギ | 3. ダイサギ | 4. コサギ | 5. ササゴイ |
| 6. ゴイサギ | 7. トビ | 8. カルガモ | 9. キジバト | 10. アオバト |
| 11. ドバト | 12. カワセミ | 13. ツバメ | 14. イワツバメ | 15. ハクセキレイ |
| 16. セグロセキレイ | 17. ヒヨドリ | 18. ヤブサメ | 19. シジュウカラ | 20. ヤマガラ |
| 21. メジロ | 22. カワラヒワ | 23. スズメ | 24. ムクドリ | 25. ハシボソガラス |
| 26. ハシブトガラス | | | | |

(高来神社～花水川での観察記録です)

2004年 船上探鳥会レポート

恒例の相模湾船上探鳥会に参加した山田文則さんからの報告です。

日時 2004年6月9日(水) 9時~12時 ... 2003年は5月28日(水)

天候 朝から梅雨空です(曇りで、涼しい)

集合場所 神奈中バス 須賀港 終点

参加者 30名...日本野鳥の会神奈川支部の幹事さんを含め、毎年参加する方々です。
(こまたんからは田端夫妻、竹沢夫妻、木田さん、澤田さん、平塚さん、菊地さん、山田の9名)

参加費 募集値3,000円が参加者多数のため 2,000円となる

特別講師:

東京・築地「おさかな資料館」学芸員の山田和彦さん(専門はトビウオだそうで、豊富な知識とクールな説明でしびれさせる)

特別視察:

市役所の荒さん 漁船有効利用のための現況視察

洋上組合の宮沢さん ヒマな時の漁船を有効利用するにはどうしたらよいかを検討している

コース:

相模湾を時計周りに一周した。南に7km 西に15km くらいの楕円を描きます。9時頃 新港から出航、11:30に戻って、鳥合わせ。

見られた鳥:

今回は曇りで涼しい。かなり沖に出たが、何も飛ばない。どの方向に進んでいるか判らなくなった...オオミズナギドリが1羽飛んだ...これで元気が出てきた。「おっ、トビウオだ」という声が上がった。こんなに大きいトビウオは初めてだ。「青くきれい!」という声...先方に突然イルカの背びれが見えた! 船上がざわめきだした。かなりの数です。6~8頭か?時々背中まで見える。おさかな資料館の山田先生の説明によると、このイルカは、背びれが尖っていること、鼻先が丸いこと、体の側面にかすり模様が見えたことで「ハナゴンドウイルカ」と思われるとのこと。イルカと鯨は生物学的な違いはなく4~5m以上を鯨と呼んでいるという! 知らなかった。海の恵みを多く受けているのに、海のことをあまりに知らないな~。山田先生には毎年参加していただき楽しい説明を聞きましょう。

「触先に背中白い大きな鳥が見えましたが、なんでしょう?」という浜口先生の声に皆さんざわめきたった。背中が真っ白で大きい。「アオツラカツオドリ?」という声。ゆっくり飛んで、時々海面に下りる。船がそろりと近づく。教科書を覗いているがハッキリしたことはわからない。船がゆれるので写真がうまく撮れない。「誰か早く撮影してください」と気合の入った浜口先生の声。最近素晴らしい写真を、世界各国で撮っている竹沢正さんがカメラを構えた。青い嘴をバッチリ写したらしい。出来上りの写真(右)が楽しみです。

浜口先生談:

「足が赤い、嘴が青い、目の周りも青いなどの特徴からアカアシカツオドリでいいでしょう。尾が褐色なのでまだ成鳥ではなく、亜成鳥の段階でしょう」。神奈川県では、横浜市で迷行した個体が保護された例があるだけで、海上での生きた観察としては初めての記録だそうです。



見られた鳥:

照ヶ崎海岸の岩礁の前を通った...アオバトが4~6羽海岸の上を飛んだ。ウミネコの幼鳥がブイの上に多かった。ウが飛んでいたが、カワウが最近海に進出している。ハシボソミズナギドリ(潜水能力が高い)、コアシサシ(ブイの上に)、キョウジョシギ、コチドリ(港に)などが見られた。

見られた魚:

ツクシトビウオ(九州の筑紫)。トビウオは日本では約20種(世界では100種あるという)。トビウオは飛んでいるだけではとてもわかりにくいそうです。尾びれ・腹びれの場所など、ひれのついている場所で見分けるとのこと。港の中にメジナが泳いでいた 大きくなると高級魚だそうです。

各専門家が楽しく説明してくれた。海については知らないことばかりで、驚くことが多い。

神奈川の海では初めての記録というアカアシカツオドリ、またイルカに会い、思い出に残る探鳥会になりました。

関係者各位に感謝します。(文責/山田)

常陸宮さまが照ヶ崎をご訪問

7月5日(月)夕方と6日(火)早朝に、常陸宮さまがアオバトの御観察のために照ヶ崎をご訪問されました。常陸宮さまは(財)日本鳥類保護連盟の総裁であり、『アオバトのふしぎ』を読まれて、ぜひ照ヶ崎のアオバトを見たいとこまたんにご下問があって、このご訪問が実現しました。今回はおしのびの私的行事で休日は避けたいというご希望であり、こまたんメンバーの中では平日に動ける人の中でできるだけ少人数で対応させていただきました。

5日は17時頃から約30分間でしたが、非常に強風で波が荒いにもかかわらず数羽の群れが3回岩場に飛来しました。6日は午前3時頃からの雷雨で天気心配でしたが、お着きになる1時間くらい前にはすっかりと上がりました。午前7時から約1時間のご観察の間に22回の飛来が見られ、130羽という非常に大きな群れも観察できました。総飛来数は1000羽前後を数え、ご満足いただけたと思います。常陸宮さまは鳥については非常に詳しく、斎藤さんと金子さんの説明に対しても厳しいご質問をされていました。こまたんにとって非常に緊張した2日間でした。

【お知らせ】

照ヶ崎アオバト観察会

7月19日(月・海の日) 8:30頃から午前中 日本野鳥の会東京支部 アオバト観察会

7月24日(土) 9:00~11:30 大磯町生涯学習館の自然観察会

望遠鏡で参加者に見てもらいます。お手伝いをお願いします。

7月25日(日) アオバトの日(こまたん制定) 6時~9時頃 連続アオバト観察会

参加時間は自由です。都合のよい時間にどうぞ。暑さ対策をお忘れなく

アオバト野鳥写真展 ... 平塚市美術館 市民アートギャラリー

吉田典一さんの作品が展示されます。

期日: 7月27日(火)~8月1日(日)

時間: 9:30~16:30(初日は12:00から、最終日は15:30まで)

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 8月7日(第1土曜日)

鷹取山 8月14日(第2土曜日)

午前6時に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散。雨天中止

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

アオバト情報

照ヶ崎への飛来情報

日付	観察時間		天気	飛来回数	飛来数		備考
	開始	終了			総数	瞬間最大	
6/13	6:00	11:00		26	510	60+	大磯、平塚以外の遠方からアオバトを見にこられる方が非常に多くなっています(川崎、相模原、三島、東村山、鎌倉、横浜、藤沢)
6/20	6:00	10:00		40	721	95	
6/26	4:50	9:50		30	244	45	
6/27	5:00	10:00		18	135	23	
7/4	4:20	10:00		69	1337	60	
7/4	15:30	18:30		20	143	14	

その他の場所でのアオバト情報

愛知県(一色海岸・奥三河地方): 6/5、6/6 にアオバト調査に行き、生息と海水吸飲を確認
谷戸川(大磯町生沢・虫窪): 6/16 声を聞いた
勝浦市大沢(千葉県): 6/18 海蝕崖上方の広葉樹林の上を2羽(1・1)が飛んだ
吉沢(日之宮山の北側): 6/28 10:20~16:45の間に43羽の飛翔、10羽の声を確認
白金温泉(北海道上川郡美瑛町): 6/29、6/30 美瑛川の対岸の木に100羽以上が群れていた
吉沢、土屋、鷹取山では、飛翔する姿と声が多数確認されている

その他の野鳥情報

アカショウビン : 6/5 愛知県奥三河、声を聞いた
コノハズク : 6/5 愛知県奥三河、声を聞いた
カワセミ : 6/15 1羽、土屋の谷戸、林から飛び出し水田に立っている竹棒の先に止まる。7/2には水田にダイビングするところも見られた。7/3にも確認されている。いずれも1羽。
サシバ : 6/15 土屋の谷戸上空を何かをくわえて1羽が飛ぶ。
ホトトギス : 鳴きながら飛ぶ姿が土屋、吉沢、鷹取山で観察されている。
山北町の曽我山でも多くの声が聞かれている(6/26)
セグロセキレイ : 6/15 吉沢の池、幼鳥1羽。4~7月はセキレイ類の記録が非常に少ない時期です
セッカ : 7/2 遠藤原で1羽が鳴きながら畑の上を飛ぶ
アマサギ : 豊田(平塚市)の水田地帯で非常に多数が見られる。伸びた緑色の稲の間から見える亜麻色(オレンジ色)の頭がとてきれいだ
ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、ツバメの幼鳥の観察記録は多数あります

今回の定例探鳥会は2004年8月8日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第209号 / 7月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/> (アドレスが変更されました)

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>